

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	下呂市	学 校 名	岐阜県立益田清風高等学校			
校 長 名	熊崎 利光	対象学年	2年次・3年次	人数	36名（2年）22名（3年）	
活 動 名	総合学科における地域を主題とした多面的な学習活動	時間数	51h（地域研究） 54h（観光地理） 44h（社会探究）		継続年数	7年
題 材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] 2 歴史（出来事・史跡・先人） [] ③ 文化（芸能・民話・風習） [] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [子どもへの読み聞かせ] ⑥ その他（ ） [地域での発表]					
複数年継続するための工夫改善	○「地域研究」（2年次）：これまで積み重ねた学習成果をよりさらに深化させ、レポート・物語・記録映像などの創作を通して地域をより深く理解するよう努めました。また、学習成果を冊子にして地域への広報に努めながら生徒の探究心を高めています。 ○「観光地理」（2年次）：地域の観光資源を学ぶことで観光産業への理解を深めています。地域で活躍する人々と連携して、観光に関する作品や観光プランを作成した後、発表、プレゼンの場を設け、取り組みの発信を行い生徒に達成感を感じさせ、地域で活躍する人材として成長するよう生徒の主体性を大切に活動しています。 ○「社会探究」（3年次）：飛騨地域のみならず、岐阜県域に視野を広げ、伝説や昔話の調査とオリジナル作品の創作に取り組み、地域文化の特徴を深く学習しました。					
1 ねらい ◎地域の生活文化や観光・地理・昔話などについて調査・研究・理解することにより、郷土に愛着をもち、地域の将来を担う人材を育成する。 2 活動の概要 (1) 「地域研究」（2年次）：地歴科、学校設定科目 ①地域の地誌確認（地理、歴史、行政組織などの把握、図書資料調査、伝統行事、文化的特徴などの確認） ②学校周辺・居住地域での取材学習を元にした作品制作と発表（詳細は別紙資料参照） ③資料調査や聞き取り調査を元にした作品制作と発表（詳細は別紙資料参照） (2) 「観光地理」（2年次）：地歴科、学校設定科目（詳細は別紙資料参照） ①地域の地理と観光資源の特徴理解と調査・分析・研究 ②関係者・関係機関と連携した郷土文化の理解と発信 ③具体的な観光プランの作成、提案と地域での発表 (3) 「社会探究」（3年次）：地歴科、学校設定科目 ①地域資料の確認（図書資料調査、伝説・昔話の確認） ②資料調査をもとにした作品制作と発表（詳細は別紙資料参照） ③新聞やインターネットを活用した他地域との比較による地域社会の理解 3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子 ○「地域研究」においては、地域の方々から取材・調査することで、各地域の方々の思いを学びながら学習活動を進めることができました。また、学習活動をまとめた冊子制作により、継続的に地域内外へ情報発信しています。 ○「観光地理」においては、地域の昔話を観光資源として捉え下呂市に伝わる昔話を調査、紙芝居として作品にしました。また、鶏ちゃんを郷土食として位置づけ、多くの人に鶏ちゃんを楽しんでもらえるよう観光プラン作成などに取り組みました。これらの作品は、地元の日頃朝市やまちづくり協議会などで発表しました。 ○「社会探究」においては、資料調査に基づく物語の創作に加え、地域住民から子どもの頃の遊びについて話を伺うことができ、考察を進めました。「地域研究」とともに学習活動を冊子にまとめ、発信する予定です。 4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等） ○上記の学習活動を通して、地域の生活文化について幅広く理解することができ、郷土理解を深めるとともに、各地の優れた文化を受け継いでいくことの大切さを学ぶことができました。身近な文化を再発見・再確認するだけでなく、地域の特色ある観光資源や観光プランの提言といった課題追究にも取り組むことができ、地域との連携と学びを深めることができました。また、作品制作の元となる資料の綿々に調査の実施により、読解力を高め、相互発表を行うことで言語活動を高めることができました。						